

黄道光課月報

(1934年11月分の報告)

かねてよりのホフマイシタ博士の“On the Nature of the Zodiacal Light”の翻譯ができた。此の機会に、わざわざ Popular Astronomy 誌をお貸下げ下さった荒木大兄、並びに昨年末新星出現中御繁忙にも拘らず、全文に亘つて御入筆御高教を賜つた小山先生に、諸君と共に謹んで感謝の意を表したいと思ふ。譯文は次號に載る豫定。尙原文は複寫しある故御入用の方は淺野幹事迄お申出のこと。

× × ×

1934年11月の観測概況

観 測 者	黄 道 光		對 日 照
	曉 東 天	宵 西 天	
下 保 茂 (札幌市)	2(17, 18)	6(4, 8, 10, 15, 21, 29)	2 (4, 8)
寺町 忠行 (愛知縣)	7(9, 12, 12, 16, 17, 18, 18)	—	—
宇野 良雄 (京都市)	4(8, 15, 16, 17)	—	—
本 田 實 (鳥取縣)	—	—	1 (4)
富原 守清 (沖縄縣)	1(6)	—	—

() 内の數字は日附を示す。

以上の他に佐賀縣小城中學校井上氏が 15日曉の観測を 1 回試みた。

東天の黄道光は、前月に比して勝るとも劣らぬ明るさを示してをり、18日には下保幹事によつて乙女座の星附近(離角約35°)の明るさ一角獣座の銀河の3.5倍と観測されてゐる。寺町、宇野兩氏によつても概して明るかつた様である。中心線は北傾、南傾入り混つてゐる。頂點の離角は一般に80°前後で、光帯の観測は寺町、宇野兩氏によつて二、三回見られてゐるが詳細不明。寺町氏の観測はいづれも著しく南傾してゐる。富原氏は初めてのスケッチであるが、甚だ巾廣く大きく見られてゐる。その時刻よりして多分薄明を見られたのであらうと思ふ。完全に薄明の影響を蒙らない時刻に試み見られんことを

祈る。西天の黃道光は下保幹事の獨り舞臺である。

對日照 下保、本田兩氏共ほゞ同様に稍々長き橢圓形に見てゐられる。10日後の觀測がない故、その後の變化を知ることができないのは残念である。本田氏は笹部氏と協同觀測の目的で、對日照より西方に連る光帶及びその附近の不規則光斑の詳細なスケッチが試みられてゐるが、笹部氏が惡天候であつたのは之亦残念であつた。今後も此の種の計劃が兩氏の間に續けられる筈である。

黃道光の色の觀測 下保幹事は、かねてより御苦心製作中の十數種のフイルタ¹を完成され、いよいよ本月より光度計に依つて黃道光の色の測定を開始された。(花山急報第124號参照)。

其 他 本月には笹部氏を中心に、關西地方に同時觀測が計劃されたのであつたが、終始惡天候のため不成功に了つた。(幹事)

遊星面課報告 (12月)

相變らず貧弱であつた。天候も良かつたとは云へない。

報告は 前田氏、スケッチ5枚 } 全部火星。
木邊氏 " 1枚 }

新入課員 西川英男氏 大阪市住吉區 15 cm 反射經緯儀
山根平三氏 東京市澁谷區 11 cm "
笹部守子氏 神戸市六甲 { 30 cm 反射赤道儀(鏡は26 cm)
 15 cm 屈折

西川氏は今迄掩蔽を行つて居られたし、笹部氏もそうであつた。

笹部氏の新機は別に記載するが(次號)、鏡及平面は「木邊鏡」¹、15 cmの屈折は多分英國の“Wray”作のレンズらしい。有力な器械が出来た事を喜ぶ。今後は觀測を期待するのみ。

火 星 少し見易くなり、前田氏が早曉の數回の觀測により、極冠の縮少が現れて居る。それ以外のことは現在の視直徑では望み難い。寧ろ努力を多とする。一月より兎に角、總動員して見たい。

土星、水星、金星、木星 何れも報告なし。やがて木星は曉に南中する様になるので、課員は火星を見た折に、之れも見たい。(幹事)

訂正 天文年鑑の中の火星表面觀測の表中下の如く訂正。

1934年度	第75頁	10月11日	9時58分(誤)	10時37分(正)
1935年度	第71頁	1月19日	4時42分(〃)	2時42分(〃)
		5月27日	9時 3分(〃)	7時47分(〃)

變光星課報告 (23)

小 山 秋 雄

12月中の觀測數 (A表)

星 名	觀 測 者 (14名)	今	水	加	西	省	木	高	笹	森	宮	西	伊	西	西	伊
		(吹 津)	(滋 賀)	(大 阪)	(京 都)	(長 野)	(愛 媛)	(京 都)	(池 田)	(横 濱)	(長 野)	(京 都)	(雲 雀 丘)	(大 阪)	(京 都)	(京 都)
RX And		—	13	—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SS Aur		3	14	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S cMi		1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
o Cet		12	10	20	17	12	5	15	13	6	—	—	—	7	7	—
T Cet		2	1	12	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
z Cyg		5	3	—	—	9	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
RZ Cyg		—	1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SS Cyg		11	15	—	—	12	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—
η Gem		4	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
U Gem		—	8	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Nova Her		6	13	9	12	7	1	6	8	14	2	6	6	3	9	—
R Lep		—	1	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
X Mon		—	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
α Ori		4	3	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S Ori		—	7	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
U Ori		7	6	17	—	8	2	—	3	—	—	—	—	—	—	—
RU Peg		—	19	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
TZ Per		—	16	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Y Tau		6	6	14	—	2	3	1	3	—	—	—	—	—	—	—
B 表 33星		39	177	24	—	10	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
合 計	52 星	100	330	113	29	93	11	35	31	20	2	6	6	10	16	—

(B 表)

星 名	觀測數	觀測者	星 名	觀測數	觀測者	星 名	觀測數	觀測者
Z Aqv	6	今津	RV Cnc	3	木邊	U Mon	1	木邊
VZ "	13	木邊	U Cet	3	"	BL Ori	5	"
η Aql	2	"	EF Cyg	14	"	CN "	17	"
UU "	11	"	R Cor	5	"	CZ "	12	"
ε Aur	5	今津	η Gem	23	"	R Peg	2	"
V "	3	"	AU "	13	"	β Per	22	加藤
RW "	12	木邊	V Hya	1	笹部	U "	3	藤掛
AB "	9	今津	R LMi	5	木邊	UV "	14	木邊
AG "	8	"	β Lyr	1	"	R Sct	2	加藤
ρ Cas	8	"	AY "	8	"	SU Tau	7	藤掛
RS Cnc	2	木邊	CV "	8	"	SU UMa	1	木邊

ヘルクレス座新星の出現や、ミラの極大を機とし新に報告をよこされた方は次の6氏である。

森 久 保 茂	伊 達 英 太 郎
西 村 新 一 郎	西 川 英 雄
宮 島 善 一 郎	佃 泰 三

彗 星 課

柴 田 淑 次

1934 c (Schwassmann-Wachmann 1929 I) 彗星発見さる。去る12月11日米國 Williams Bay の Van Biesbroeck 氏は下記の位置に此の彗星の再発見をなした

萬國時	赤經 (1934.0)	赤緯
12月11日 2 ^h 41.0 ^m	1 ^h 43 ^m 24.3 ^s	+5°21'32''

光度は16等であつた。又 Rasmusen の豫報位置との差は $\Delta\alpha = +2.5^m$ $\delta\Delta = +13'$ である。Rasmusen 氏は近日點通過を修正して次の軌道要素を出した。

起時 1934年10月10.0日 (萬國時)	
M=310.560	e = 0.39454
$\omega = 357.992$	a = 3.45979
$\Omega = 126.090$	$\mu = 551.354$
i = 3.731	T = 1935年8月28.81日

因に此の彗星は1934 c 彗星と呼ばれる。

本年最初の彗星発見さる。去る1月12日午後コペンハーゲンよりの着電によれば Johnson 氏は下記の位置に一個の彗星を発見した。形は星霧状である。

萬國時	赤經 (1935.0)	赤緯
1月8日 18 ^h 28.2 ^m	0 ^h 59 ^m 48 ^s	-51°3'

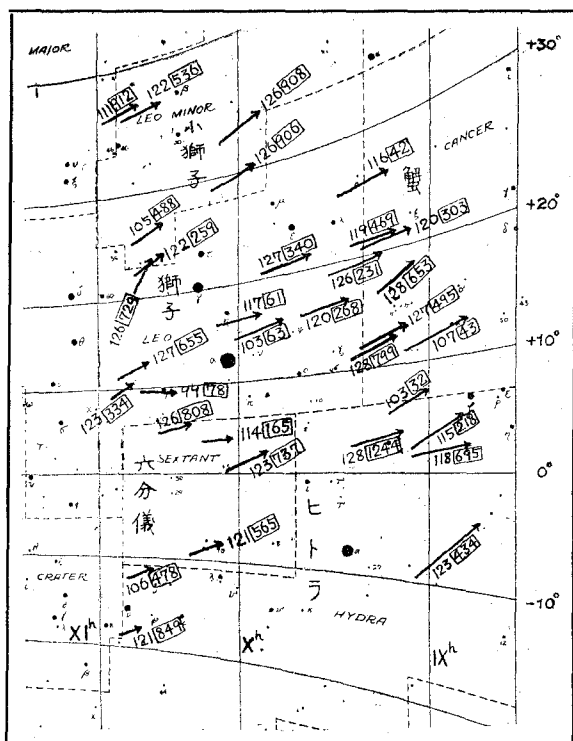
光度は10等、日々運動は、赤經に於いて東へ16'', 赤緯に於いて北へ1°3' である。緯度が低く内地の觀測者には見難いだらう。併し、日々北上するから1月末より觀測出来る。此の彗星は 1935 a 彗星である。

ケラウエイ (Kellaway) 星。英國 Crommelin 氏發信、Johnson 彗星と同時着電。其の位置は下の通り、

萬國時	赤經 (1935.0)	赤緯
1月6日 21 ^h 55 ^m	4 ^h 17 ^m 24 ^s	+16°11'

光度は10等級、日々運動は、 $+2^m8^s$ 、 $+1^00'$ である。夕方天頂附近で觀測に至便。形は恆星状である。

一九三五年二月中旬の小遊星圖



上圖は本年2月中に對衝になる小遊星の中、光度(衝に於ける)12.9以上のものの2月中頃(2月7日—2月23日)の位置を示す。矢印は其の運動の方向を表す。又矢の長さは此の期間中に於ける小遊星の運動の量を表す。數字は例へば123[434]とは第434番と云ふ小遊星であつて其の衝に於ける光度は12.3である事を意味する。又上圖に書けなかつた二個の小遊星の位置を下に示す。

432番星 光度 11.6			444番星 光度 11.9		
α	δ		α	δ	
2月 7日	8 50.4	+31°19'	2月 7日	8 52.8	+4° 1'
15日	8 41.8	+32 6	15日	8 46.4	+4 45
23日	8 34.3	+32 38	23日	8 40.6	+5 32

(花山で見える) 掩 蔽 豫 報 (昭和十年三月)

星 名 Star	光 級 Mag.	潜入時刻 Immersion	位置角 P. A.	出現時刻 Emersion	位置角 P. A.	月齡 Moon's Age
388 B. Leo	6.3	20 1 52.2	86°	20 3 10.4	259°	14.6
370 B. Vir	6.0	21 23 19.4	136	22 0 33.6	330	16.5
75 Vir	5.6	—	—	22 19 16.5	345	17.3
153 B. Lib	6.3	25 4 44.4	40	25 5 47.2	292	19.7
Antares	1.2	26 4 6.0	52	26 5 24.5	271	20.7
116 B. Sco	6.2	26 5 14.9	61	—	—	20.7

太陽課 黒點相對數報告 (1934年十二月)

觀測者(觀測地)	松本(臺灣臺中高女)	日野(愛媛縣新居郡)	荒木(倉敷天文臺)	改發(神戸市須磨區)	荏部(神戸市灘區)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	井澤(大阪府岡中學)	前田(京都市下京區)	龜井(花山天文臺)	木邊(滋賀縣中里村)	三澤(長野縣上諏訪)	沓掛(長野縣青木村)	清水(靜岡縣島田町)	森久保(橫濱市中區)	淺居(橫濱保土谷區)	水谷(東京市本郷區)	稻垣(東京市芝區)	山根(東京市澁谷區)	千葉(岩手縣水澤町)	下保(札幌市豐平町)
鏡徑耗	50	98	75	150	75	80	110	70	55	73	73	102	100	35	27	38	75	44	50	58
倍率	40	69	75	68	77	70	92	40	64	60	83	75	73	50	50	50	30	43	50	44
1	曇雨	欠	33	42	33	50	44	31	30	31	43	30	36	24	18	26	欠	雪	雪	
2	曇雨	欠	33	29	28	30	欠	15	欠	忙	30	30	旅	24	12	11	曇	14	15	
3	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
4	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
5	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
6	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
7	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
8	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
9	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
10	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
11	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
12	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
13	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
14	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
15	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
16	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
17	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
18	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
19	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
20	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
21	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
22	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
23	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
24	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
25	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
26	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
27	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
28	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
29	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
30	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
31	曇雨	欠	33	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	旅	曇雨	曇雨	曇	曇	曇	曇	
平均	17	12	19	21	21	21	9	18	12	12	20	20	21	16	9	11	8		12	17
日數	21	18	18	16	24	21	14	22	14	11	26	19	17	22	17	15	12		15	30

之を以つて三澤氏の觀測は終る、過去15ケ年の偉大なる連續觀測列に名殘りは惜しいが!! ●清水氏は毎月黒點の現れた日には寫眞に撮影して報告されてゐる。今月は 6, 8, 20, 21, 22, 24, 25, 27, 30 の9ケ日の撮影をされてゐる。